

シチズンシップ・スタディーズ /

火起こしプロジェクト 学生の声

経営学部
谷口 琢海

1.地域の皆さんとの関わりや自然環境

このプロジェクトで
学べたことは二つあります。

2.自分自身でアクティブに行動していく力
や他人と意見交換する力

コメントはこちら→(<https://youtu.be/fvjL4GqVxrs>)をクリック

夏の農業体験+BBQイベント
(地域の方と学生の協賛) ↓

政策科学部
叶 美奈子



地域の方の畑で農業体験 ↑



秋のピザ会イベント (学生主催) ↓



地域の方の家にお邪魔・・・ ↑



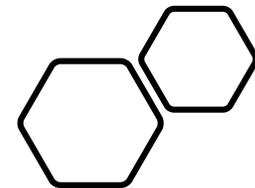
自分達の地域の「持続可能」に真剣に向き合い、パワフルに取り組む素敵な方々と交流ができます。望む方向に意識をむければ、必ずなにか新しい視点が見えてくる、という印象です。新たな知見、経験を得られる機会になります！

「地方」という言葉にマイナスなイメージ（衰退など・・・）をもっている人ほど参加を検討してもらいたい授業です！！

茨木火起こしプロジェクト
叶美菜子



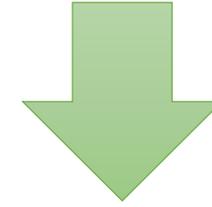
火起こしプロジェクト ～茨木市北部地域の活性化～のご案内





茨木市北部地域

「都市か自然か」ではなく
「都市も自然も」のライフスタイル



30分車で走れば、自然豊かな環境、
自ら食材を作って食べる、里山の間伐
材を使ってエネルギーを
自給自足！！

自分たちが選んだ場所だから、ひとり
ひとりの自治意識高いのも特徴！

北部の抱える課題



茨木の2分の1の面積に
100分の1の人たちが住んでいます。
しかも、高齢化率はぐんぐん上昇中！

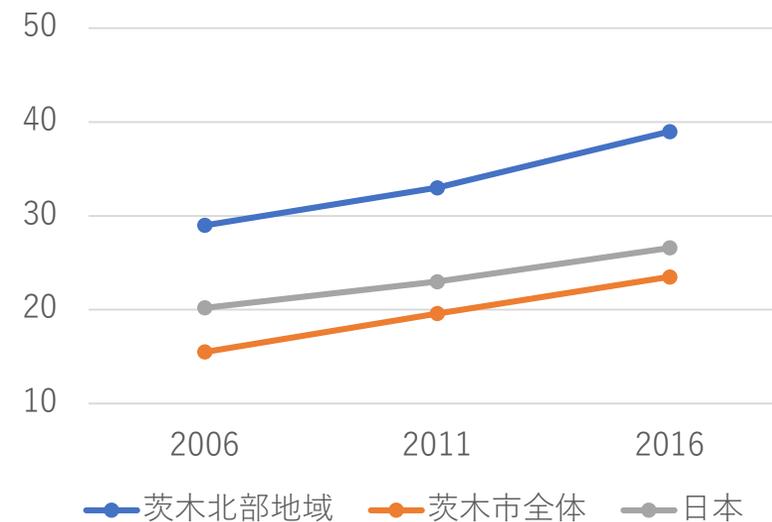
人口減少

若者の流失

土地の荒廃
問題

高齢化率の
上昇

高齢化率の変化



このプロジェクトの受け入れ先



茨木
ほくちの会

茨木ほくちの会

茨木市北部地域協議会

茨木ほくちの会 とは …

- 2015年4月に設立
- **茨木市北部地域の居住者・出身者・事業者**
で参加の意志のある人で構成



- “みんな笑ってイケるところ” を目指し、

- 茨木市北部地域を支える人を増やす活動
- 地域の暮らしを充実させる活動
- 人それぞれの価値観の違いを大事にした活動をおこなっている。

高齢者支援チーム

高齢化率は約**40%**

方法

- 買い物など自分自身のことできない
→注文を聞いて代わりに買いに行く

未来チーム

若者人口が少ない
(核家族の増加)

目の前ではなく10年後、20年後は？



**地域の未来
(自然をどう守るか)**

活動実行チーム

イベントを企画
↓
風と土の杜がきっかけ
↓
人を増やす

コミュニティづくり

若者チーム

北部出身でも、この地域を出ていく人が多い。
→20人くらい



地域に残ってもらうには？



2018年度は、
野外の活動拠点作り&
拠点でのイベント実施

2019年度は～古民家再生プロジェクト～

- ・茨木市北部地域の中心部、千提寺に位置する古民家を再生。

◎ほくちの会が目指す古民家

☆地域のコミュニティの場

- ・物々交換の場、みんなの加工場、客のいない食堂 etc
→経済を循環させる

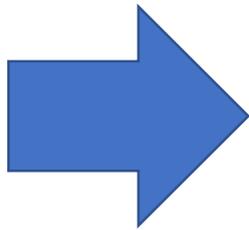
◎一般社団法人みずとわ

- ・「**水と〇(わ)で心を動かす**」をミッションに活動
- ・カルチャー、コミュニティ、エネルギーの3つの事業を柱
- ・資源、経済を循環させ**持続可能な地域づくり**を目指す

before

古民家ビフォーアフター

after



作業以外の活動も！

6月農業体験



実際の“暮らし”を体験

9月ガチすぎるBBQ



ほくちファンを増やす

11月

ガチでピザ食べたいなら ピザ窯から作らん会



一緒にほくちの未来を考えてもらう

キャンパスから30分の農山村で
一緒に、体と頭を動かしませんか？



プロジェクト名:

茨木火起こしプロジェクトー持続可能な地域づくりー

受入団体名: 茨木ほくちの会 (茨木市北部地域協議会)

募集人数

10名

<受入団体からのメッセージ>

茨木北部地域は自然豊かな農村集落で高齢化や担い手不足による休耕地、里山の荒廃・等、様々な課題を抱えています。しかし、課題以上に可能性に満ちています。私たちは食の循環や再生可能エネルギーの導入、コミュニティづくり等を通じて、地給地足を行い、「持続可能な地域」をつくっていきたくと考えています。「みんな笑ってイケるとこ」、山の住民だけでなく、自然も未来に生きる人も、みんな笑って生ける(活ける・逝ける・行ける)ように多様な価値観や背景の人たちが集まり、暮らしと事業を創っていくプロセスは、想像よりもずっと面白いです。地域と社会を元気にし、人の心に火を灯す、火起こしのような試行錯誤の活動にぜひジョインしてください!

<活動期間: 2020年5月中旬～2020年 11月下旬 活動日数: 14日程度>

<主な実習場所>

茨木市千提寺周辺 (最寄駅・バス停など: 阪急バス千提寺口)

<日常的なコミュニケーションの手段>

(○)電子メール (○)Facebook (○)LINE ()電話

<活動パターン>

<活動する現場で学生が求められる理由>

柔軟な発想と、行動力に期待しています。
空き家だった茅葺屋根の古民家を蘇らせていきます
ので、体力も重要です!

()毎週1日程度・定例
(○)月1～2回・不定期
()主に夏期休暇・集中
()その他
→具体的には…

<活動のテーマと主な内容>

山とまちをつなぐコミュニティ拠点となる古民家を再生する

茨木ほくちの会は、生活や事業の中で、食とエネルギーの循環、コミュニティづくりを行い、持続可能で豊かな地域をつくっていきたくと考えています。

私たちはこれまでずっと、どんなポリシーを大切に生きていきたいのか、考えながら活動してきました。

その試行錯誤のプロセスは、地域の人だけでなく、もっと人と深くつながりたい、自然に寄り添った社会にしたい、食と命を大切にしたい・・・と、同じように試行錯誤する人たちとの関係を築いてくれました。その関係はどんどん深まり、「もっと日常的に、自由に、一緒に」この地で活動していきたくという双方の想いを強くさせました。

そして、茨木市北部地域の中心部・千提寺に、茅葺屋根の古民家を借り、夏にオープンを控えています。

この地に集まった本気の大人たちと一緒に試行錯誤しながら、古民家と、周辺の畑と山を開拓していきます。

どうしたら、日々の生活の中に持続可能なあり方を導入していけるか「行動すること」で仕組みを創りあげます。

学生の皆さんには、私たちと一緒に泥臭い開拓作業から、交流イベントの企画・実施まで、古民家再生メンバーの一員として関わってもらえると嬉しいです。

<期待できる学び>

- ・人は自然に生かされていること、人は助け合って生きていることを身体と心で理解できる。
- ・SDGsを深く理解し、目標達成に向けた行動に踏み出すことができる。
- ・私たちの命を支える「食」のリアルを知ることができる。
- ・多様な価値観に触れ、自分と社会の違う側面を見ることができる。

この授業を受講した先輩の中には、ほくちの会メンバーとともに、活動されている方もおられます。

持続可能な社会をつくっていくために、国内外を旅し、視野を広げ、日々自分を進化させていく彼女から、私たちはたくさんことを学んでいます。今回は彼女に火起こしプロジェクトの全体企画、授業外で取り組んでほしいことを考えてもらいました。私たちも皆さんから、学びたいと思っています。一緒に学びましょう！

<活動の流れ>

5月

【私たちを取り巻く環境を知ろう！】

①交流会@ 季節のごはんカフェSatono

私たちが普段何を考え、何をしているのか、また皆さんの興味・関心についてざっくばらんに話し会をしましょう。

②10年後の社会を予測する意見交換会・国内外の古民家活用事例・欧州で盛んなSDGsの活動に関する情報シェア会
気候変動などの環境問題から10年後どんな世界になっているのか、それを踏まえ茨木ほくちの会の目指す姿を共有。

また、まだ使えるのにゴミになってしまうものやまだ食べられるのに捨てられる食材など、そこにある資源をクリエイティブに工夫することで楽しく面白く活動している国内や欧米圏の事例をピックアップし、みんなでシェアしよう。

6月

【茨木ほくちを体験しよう！】

①ほくちの会メンバーの仕事・生活を実際に体験。5月で見聞きしたことを次は体験することで五感で吸収！

【古民家の作業開始！】

②ものづくりワークショップ・古民家で使う設備や備品を作ろう！

古民家でつかうテーブルや椅子を茨木市北部地域の間伐材でテーブルや椅子をDIY。

また休耕地を整備し古民家訪問者のための駐車場作ります！

7月

【拠点を開拓しよう！】

①畑

②田んぼ整備

③うらやま開拓

古民家の裏山と畑を開拓し整備します。

8-9月

【拠点を活用してみよう！】

①“本気のメンバー”とともに風の杜または古民家のイベントを企画・実施してください！

これまで吸収したことや学んだことを基にほくちにある資源(人・モノ・コト)を最大限につかって、地域の魅力を伝えられるようなイベント企画をお願いします！！

<これまでの先輩たちのイベント例>

竹を使ってつくった水鉄砲で戦 ・ ティピの中で焚火 ・ ほくち産の農畜産物やジビエを使ったBBQ/野外料理
・馬やヤギとのふれあい体験などをはじめとした子どもの自然体験

10-11月

【拠点を開拓しよう！】

①畑

②うらやま開拓

古民家の畑と裏山を開拓し整備します。

12月

【学びを次のアクションにつなげよう！】

大学・ほくちの会で報告会を実施。



授業を受講した
先輩が薦める

授業外でやってほしいこと

- サステナビリティや循環型社会(サーキュラーエコノミー)に関連するイベントに参加する。
例) フードロス、エシカル消費、エコ、SDGsなどのキーワードで検索
- ideas for good, WWD, 事業構想, Casaブルータス, Patagonia等が出している記事から好きなものを選び、授業で発表。
- 映画鑑賞
おすすめ映画)
「Cowspiracy サステナビリティ(持続可能性)の秘密」
「The True Cost ザ・トゥルー・コスト ファストファッション 真の代償」
「不都合な真実2」

※上記の内容、活動の流れは、授業を受講した先輩が企画、提案です。
ほくちの会のメンバーも上記のことをすべてインプットしていません。
一緒に学んでいきましょう！

<受講生に求めること>

費用	交通費・食事代・宿泊費 ※過去受講した先輩は助成金の申請を行う等、自分たちで資金調達もされていました。
参加の姿勢	私たちにも答えはありません。日々トライ＆エラーを繰り返しています。 固定概念を捨てて、主体的に考え、一緒に行動していきましょう。
終了後の評価	評価は人が決めるものではなく、自分が決めるものだと思うので、 学び、変化したことと、今後のアクションを終了時教えてもらえると嬉しいです。

<その他、プロジェクト実施にあたって期待すること(教職員も含めて)>

【サービスラーニングセンターの皆様と秋吉先生へ】

今年は、「持続可能な社会を支える仲間」を学生に限らず、増やしていきたいと思っています。
皆様の取り組みやつながりを共有いただくと嬉しいです。
学生と一緒にほくちにも、ぜひお越しく下さい。